

平成二十一年度事業実施経過報告

一 総会の開催

●役員会の開催

八月二十六日(水)

十四時

於 広島市中区

出席者 七名

●総会の開催

八月二十六日(水)

十四時三十分

於 広島市中区

出席者 二十四名

講演 (総会終了後)

「健康な毎日のために」

前広島赤十字

原爆病院看護部長

阿部 直美

懇親会 (総会講演終了後)

出席者 二十一名



二 全国有功会組織との連携等

日赤紺綬・有功会

会長協議会総会出席

十月二十九日(木)～三十日(金)

於 滋賀県大津市

出席者 古川 浩副会長

支部より 中川日出男事務局長出席

三 仲間づくり運動の推進

有功章受章者へ入会案内送付

銀色有功章 七十五件

金色有功章 二件

四 赤十字事業に関する資料の提供

●広島県赤十字有功会

会報第五号発行

●赤十字新聞の発送

●インターネットを通じた広報

平成二十一年度日赤紺綬・

有功会会長協議会総会

日時

十月二十九日(木)十四時から

十月三十日(金)十四時まで

場所

「琵琶湖ホテル」滋賀県大津市

日程

●十月二十九日(木)

総会

○第一部

・開会

・日本赤十字社滋賀県支部

・有功会会長挨拶

・日赤紺綬・有功会会長協議会

・会長挨拶

・日本赤十字社社長祝辞

・日本赤十字社滋賀県支部長祝辞

・議長選出

・議事

・閉会

○第二部

・講演会

・演題

「滋賀(近江)はどんなところ」

・講師

木村 至宏

成安造形大学附属

近江学研究所所長

同大学名誉教授

・懇親会

●十月三十日(金)

視察

視察先：比叡山延暦寺 根本中堂

平成二十一年度

日赤紺綬・有功会会長協議会総会報告

広島県赤十字有功会 副会長 古川 浩



平成二十一年度総会

日赤紺綬・有功会会長協議会総会

平成二十一年度総会では、十月二十九日と三十日に滋賀県大津市「琵琶湖ホテル」を会場に、全国各都道府県紺綬・有功会から会長・役員等百十六名が出席し開催されました。

今回は、宇田会長がご公務のため、出席がかなわず代理として副会長の私と日赤広島県支部より中川日出男事務局長が出席しました。

総会は、開催県である日赤滋賀県支部有功会会長並びに、日赤紺綬有功会会長(山形県)の挨拶に続き、日赤副社長、滋賀県支部長のご祝辞を頂いた後、日赤滋賀県支部有功会高橋会長を議長に選出し、議事が進められました。

議事では、平成二十一年度収支決算報告、平成二十一年度会計収支中間報告、協議会役員改選について協議されたほか、

各ブロック代表の活動報告では、中四国を代表して島根県赤十字有功会が発表され、積極的な情報交換が行われました。

総会後は、成安造形大学附属近江学研究所所長・同大学名誉教授の木村至宏先生による「滋賀(近江)はどんなところ」と題した講演や親睦を深めるための懇親会が行われました。

懇親会では、NPO法人大津絵踊り保存会の皆様による、大津絵踊りが披露され、講演会や懇親会を通じ滋賀の歴史や伝統文化に触れることができました。

翌日には天台宗の総本山である世界文化遺産にも登録されている「比叡山延暦寺」を訪れ延暦寺東塔地区の中心となる根本中堂等を参拝し、二日間の日程を終了しました。

各ブロック代表の活動報告では、中四国を代表して島根県赤十字有功会が発表され、積極的な情報交換が行われました。

総会後は、成安造形大学附属近江学研究所所長・同大学名誉教授の木村至宏先生による「滋賀(近江)はどんなところ」と題した講演や親睦を深めるための懇親会が行われました。

懇親会では、NPO法人大津絵踊り保存会の皆様による、大津絵踊りが披露され、講演会や懇親会を通じ滋賀の歴史や伝統文化に触れることができました。

翌日には天台宗の総本山である世界文化遺産にも登録されている「比叡山延暦寺」を訪れ延暦寺東塔地区の中心となる根本中堂等を参拝し、二日間の日程を終了しました。

各ブロック代表の活動報告では、中四国を代表して島根県赤十字有功会が発表され、積極的な情報交換が行われました。

総会後は、成安造形大学附属近江学研究所所長・同大学名誉教授の木村至宏先生による「滋賀(近江)はどんなところ」と題した講演や親睦を深めるための懇親会が行われました。

懇親会では、NPO法人大津絵踊り保存会の皆様による、大津絵踊りが披露され、講演会や懇親会を通じ滋賀の歴史や伝統文化に触れることができました。

翌日には天台宗の総本山である世界文化遺産にも登録されている「比叡山延暦寺」を訪れ延暦寺東塔地区の中心となる根本中堂等を参拝し、二日間の日程を終了しました。



広島県赤十字有功会会報は、会員の皆様と共につくる会報をめざしています。

会員の皆様からのご寄稿をお願いいたします。俳句、短歌、詩、エッセー、旅行記、写真、絵などなど、ぜひ、お寄せください。また、ご意見、ご要望などお聞かせください。

【寄稿のお願い】

仲間づくり運動の推進にご協力ください。

広島県赤十字有功会では赤十字の支援組織として、赤十字精神の普及とその事業の伸展に貢献する活動を行っております。

赤十字を支援する輪を広げるため、会員の皆様には知人等に有功会への加入の声かけなどの仲間づくりの推進にご協力ください。

◆入会資格

日本赤十字社の事業資金に多額のご協力をいただき、日本赤十字社有功章を授与された個人及び法人・団体(参考)

- 一時又は数時で20万円以上のご協力で銀色有功章(楯式)を贈呈いたします。
- 一時又は数時で50万円以上のご協力で金色有功章(勲章式)を贈呈いたします。



銀色有功章(楯式)



金色有功章(勲章式)

平成21年全国赤十字大会開催

平成21年5月14日、赤十字思想誕生150周年を記念し、明治神宮会館で日本赤十字社名誉総裁皇后陛下、同名誉副総裁各妃殿下をお迎えして、平成21年全国赤十字大会が開催されました。

大会には、全国から約2千人が参加しました。広島県からは本会森本副会長をはじめ、有功章受章者や奉仕団委員長ら30人が出席しました。

名誉総裁皇后陛下からは、「赤十字思想が世に提示されてより、150年の節目に、改めて赤十字活動の根底にある、人道への思いを深めていきたいと思います。アユナンの思いを今日に生かし、一層力強い活動を国の内外において進めていくことを、心より希望しております。」とのおことばをいただきました。

近衛忠輝社長は、「日本赤十字社は、先人達の努力により、世界で誇る多彩で大規模な事業を展開しています。多くの国民の皆さまのご協力の下になりたっているこれらの事業を引き継いでいくことは、我々に課せられた大きな責任です。」と決意を語りました。



会員動向 (平成二十一年十二月末日現在)

〔個人〕六十八名 〔法人〕百五十四社 〔計〕二百二十二名

平成二十一年度新規会員紹介

ご入会いただき、ありがとうございました。(敬称略)

個人(七名)

- 前原 慈朗 (福山市)
- 天川 満子 (東広島市)
- 木本 猛 (広島市安佐北区)
- 森島 利太 (広島市西区)
- 法人(二十七社)
- 瀬良織物株式会社 (福山市)
- 新川電機株式会社 (広島市中区)
- 有限会社中川電業社 (広島市中区)
- 株式会社長谷川会計事務所 (広島市西区)
- 株式会社岩井商会 (広島市南区)
- 大洋印刷株式会社 (東広島市)
- 有限会社江田島文化興振社洋行 (江田島市)
- 株式会社山本製作所 (東広島市)
- 麒麟倉庫株式会社 (安芸郡海田町)
- 掛谷製綿寝具株式会社 (福山市)
- 岡田石材株式会社 (福山市)
- 有限会社第一設計 (三原市)
- 株式会社タカケン (広島市南区)
- 有限会社中国新聞 (広島市佐伯区)
- 五月が丘販売所 (広島市佐伯区)

- 稲岡 文昭 (廿日市市)
- 有座 勝宏 (広島市佐伯区)
- 茶山 安登 (広島市南区)

株式会社ビセイ (福山市)

有限会社藤本商店 (福山市)

有限会社西本機械 (広島市中区)

株式会社安井建築設計事務所 (広島市西区)

岡七不動産 (広島市中区)

広島歌謡倶楽部 (広島市南区)

有限会社大山博商店 (福山市)

株式会社メンテック (東広島市)

堀口海運株式会社 (呉市)

北辰映電株式会社 (広島市中区)

和田祐一税理士事務所 (福山市)

株式会社ビバックス広島支店 (安芸郡海田町)

土居熔接工業株式会社 (尾道市)

このころよりお慶び申し上げます。

旭日中綴章

宇田 誠 様 (株式会社広島銀行特別顧問・広島市中区) 二十一年十一月

広島県支部だより

救急法のまめ知識

●やけどをした場合

やけどした部分が体の表面積の20%以上(こどもは10~15%以上)になると重症で、放っておくと危険なので急いで医療機関に行きましょう。

※面積が小さくても3度の部分があれば重症と考え急いで医療機関に行きましょう。

◎やけどの程度

1度	皮膚の色が赤くなり、ひりひりする。
2度	腫れぼったく赤くなり、水ぶくれになり、痛みが強い。
3度	皮膚が黒く焦げている、蒼白になる。

●やけどの手当

やけどの手当で大切なことは、苦痛の軽減、細菌感染(化のう)の防止、ショックの防止の3点です。

- ①すぐに冷やしましょう。水道水などきれいな冷水を使い、患部に直接強い水圧をかけないように心がけることが大切。多量の水がない場合は、清潔な布を水に浸したものを患部に当てて冷やします。
- ②十分に冷やした後は、細菌感染を防ぐため滅菌ガーゼや清潔な布で患部を覆いましょう。このとき、脱脂綿のような細かい繊維のものは使わないでください。水ぶくれはつぶしません。



出典:「すぐに役立つ救命・応急手当」 日本赤十字社広島県支部

《注意事項》

みそ、しょうゆ、ジャガイモをすったものなどを絶対に患部にぬってははいけません。

●衣類の上から熱湯をおびた場合

直ちに衣類の上から水をかけるか、水に浸して冷やします。

十分に冷やした後、衣服を脱がせませう。その際、患部をこすって悪化させてしまいそうな場合は、ハサミで衣服を切り開きます。皮膚が衣服にくっついていいる場合は、無理にはぎ取らないようにしましょう。

赤十字講習会のお知らせ

どんなところでも役立つ「人間のいのちと健康を守る」知識

日本赤十字社広島県支部では、健康で安全な生活を送るとともに、ボランティア活動等に役立つ知識や技術を身につけていただくため、救急法、水上安全法、健康生活支援講習、幼児安全法の講習会を開催しています。これらの講習は、学科と実技を組み合わせるわかりやすく指導します。

救急法

日常生活における事故防止の知識と、思わぬ事故や災害にあった人、急病になった人に対して、医師や救急隊に引き継ぐまでの手当の方法を学ぶことができます。

水上安全法

水と親しみ、水の事故から人命を守るため、泳ぎの基本、水の事故防止、溺れた人の救助、手当などの知識と技術を学ぶことができます。

健康生活支援講習

すこやかな老年期を過ごすために、健康の増進、疫病の予防、高齢者の自立をめざした介護やボランティア活動に役立つ知識と技術を学ぶことができます。「災害時高齢者生活支援講習」では、避難所で生活する高齢者への援助を学ぶことができます。

幼児安全法

0歳児から学齢前のこどもに起きやすい事故を未然に防ぐために、周囲の人々が何に注意すればよいか、こどもにどのようなことを教えればよいかを知り、手当や看病の知識・技術などを学ぶことができます。

法人会員様の主催の場合は、指導員派遣費は不要です。

※教材等の実費が必要な場合には、ご負担いただく場合がございます。

お問い合わせ先

日本赤十字社
広島県支部事業課

TEL082-241-8811(代) FAX082-240-2741
ホームページ <http://www.hiroshima.jrc.or.jp/>
Eメール redcross@hiroshima.jrc.or.jp

平成21年度

日本赤十字社中国・四国各県支部 合同災害救護訓練を開催

11月14・15日の両日、大規模災害発生の非常時に対処すべく、消防、県警、自衛隊などと合同で、日本赤十字社中国・四国合同災害救護訓練を実施しました。

訓練では、県内で大地震発生という想定のもと、迅速な仮設診療所設営、倒壊家屋救出、有毒ガス発生に伴う特殊災害救出・救護活動、血液・医薬品輸送などの訓練を行いました。

被災した建物から消防や警察が救出した傷病者を日赤救護班が引継ぎその場で緊急治療を行います。また、ほとんどのインフラが途絶えた中、重傷者は自衛隊のヘリコプターで緊急搬送され、赤十字奉仕団が無線やバイク・飛行機を駆使して情報収集や医薬品等を届けるなど、全ての機関、全ての人が連携し救護活動を展開しました。



日本赤十字社では災害救護事業を本来の使命に根ざした重要な活動として位置づけ、災害発生時にはいつでも出動できるように、救護班要員の技術・知識のレベルアップを図り、平素から、県内各地で実施される訓練に参加しています。そのほか、救護用資機材の整備・拡充に努めています。



インドネシア保健医療支援事業に 広島赤十字・原爆病院 看護師を派遣

日本赤十字社は、平成17年度から、インドネシアのボゴール市で公衆衛生の改善および医療技術向上のため保健医療支援活動を行っています。

地域での中核的な役割を担うインドネシア赤十字社ボゴール病院では、多くの患者を受け入れ、その機能充実に期待されています。特に同病院の外傷センター、新生児治療室、集中治療室といった医療設備の整備や現地の医療スタッフ、保健ボランティアへの助言・指導を通じて、腸チフスや Dengue 熱など熱帯地方特有の疾患で苦しむ地域住民への支援を継続しています。

広島赤十字・原爆病院では、これらの活動を支援するため、国際救援・開発協力要員として看護師1名を平成21年7月28日から現地にて約3ヶ月間派遣いたしました。

なお、同看護師は、ボゴール病院の医療スタッフと協働し活動を行っていましたが、9月30日に発生したスマトラ島中部地震で被災したバダンへ急速派遣され、10月1日から被災者の救援活動にあたりました。